

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	948.00	2020/8/17
High	974.00	2020/8/18
Low	898.00	2020/8/21
Close	923.50	2020/8/21

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	3255.00	2020/8/17
High	3304.00	2020/8/18
Low	3058.00	2020/8/21
Close	3140.00	2020/8/21

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2118.15	2020/8/17
High	2231.95	2020/8/18
Low	2118.15	2020/8/17
Close	2185.50	2020/8/21

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	7250.00	2020/8/17
High	7556.00	2020/8/18
Low	7250.00	2020/8/17
Close	7424.00	2020/8/21



ニュースエクスプレス

触媒反応を使った人工筋肉で動く88ミリグラムの昆虫サイズのロボット

南カリフォルニア大学の中国人研究員であるYang Xiufengが開発し、学術誌サイエンスに発表した「RoBeetle」と呼ばれるロボットは、電池で動く通常のロボットとは異なる。昆虫の大きさほどのこの極小ロボット、重さは1グラム以下だが自重の2.6倍もの物を動かせる。

この開発の最も画期的な点は、プラチナがコーティングされているニッケルチタン形状記憶合金(SMA)ワイヤを使い、燃焼による触媒反応を利用していることで、「RoBeetle」の設計と実現のために、ミリ単位の制御機構(MCM)を搭載したニッケルチタンとプラチナ触媒ベースの人工筋肉システムが開発された。

(ソース: <https://robotics.sciencemag.org/content/5/45/eaba0015>)

貴金属需要の世界的な高まりでプラチナ投資の可能性に注目

ゴールド価格は27%上がって8月6日、過去最高の2067ドルとなり、現時点でほとんど全てのアセットクラスのパフォーマンスを上回った。

世界のプラチナETF保有量は重量では今年6%増(6.3トン)で、運用資産残高では3%増(8900万ドル)。プラチナ価格は3%下降。しかし実は、2020年3月19日にプラチナは599ドル、ゴールドは1474ドルに下落して以来のプラチナの上げ幅は58%で、ゴールドの32%を大幅に上回ったことはあまり注目されていない。長い間低迷していたプラチナの先行きが初めてポジティブなものになったことは重要な変化だ。

プラチナ価格のパフォーマンスがゴールドのそれを上回るのは例外的なことではなく、2008年後半の世界金融危機から2年間、プラチナの週間リターンはゴールドのそれを30%から65%も上回っていた。

(ソース: https://platinuminvestment.com/files/983323/WPIC_Platinum_Perspectives_August_2020.pdf)

次に回復するのはプラチナか

ゴールド価格は先週回復し、火曜日には株価も大きく上がった中で2000ドルを割ることはなかった。ゴールドの投資ファンドであるSPDR Gold Trust (GLD)も1%上昇。

サクソバンクでコモディティ・ストラテジーを率いるOle Hansen氏はKitco Newsとのインタビューで、ゴールドは重要な反転レベルを超え、近いうちに再び過去最高値をつけるかもしれないとしている。

「プラチナはゴールドより再び1000ドル安くなり、最近では1100ドルまで差が開いた。もしもゴールドが予想以上に回復して上昇すれば、投資家は別のものを探し始めるかもしれない。今現在プラチナへの投機的な投資は非常に少ないので、この割安感はさらなる買いを呼び込むかもしれない。」

(ソース: <https://www.etftrends.com/will-platinum-be-the-next-metal-to-rally/>)

プラチナスポット価格の上昇でプラチナイーグル高騰

紙幣などの印刷を行うデ・ラ・ルー (DLAR:LN)の株価は、ロンドン市場で5月29日には37.38ポンドだったが、8月10日には151ポンドに急騰。プロフェッショナル・コイングレーディング・サービスの親会社であるコレクターズ・ユニバース(CLCT)の株価も同じく8月10日、22.24ドルから41.02ドルに高騰。これは珍しいコインを探す投資家以外も注目すべきことだ。

現物コインの中でも中心的存在である地金型コインは、最近上昇を続けているシルバー、過去最高値をつけたゴールドの動きに連動している。プラチナも大幅に上がっており、アメリカン・イーグルコインの価格にも影響が出ている。ディーラーらは、コレクターだけでなく一般消費者からの需要にも応えられるよう、引き続きスポット価格に注目している。

(ソース: <https://www.numismaticnews.net/article/platinum-eagles-soar-as-spot-price-increases>)

Translated by Kazuko Osawa, JBMA



WPIC直近の活動

- WPICがスポンサーするネット番組「Platinum Focus」第2回(8月号)を公開されました。この番組はJBMAと協働し、プラチナ・パラジウムといった白金族金属の情報に特化した番組であり、月一回の頻度でお届けしております。ぜひご覧ください。

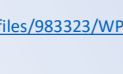
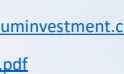
<https://www.youtube.com/watch?v=BbgWn79rv2s>

- WPICは8月号の「プラチナ展望」を発表しました。世界のプラチナETF保有量は重量では今年6%増(6.3トン)で、運用資産残高では3%増(8900万ドル)。プラチナ価格は3%下降。しかし実は、2020年3月19日にプラチナは599ドル、ゴールドは1474ドルに下落した時点からのプラチナの上げ幅は58%で、ゴールドの32%を大幅に上回ったことはあまり注目されていない。詳しくは

https://platinuminvestment.com/files/983323/WPIC_Platinum_Perspectives_August_2020.pdf

- WPICが8月13日-8月15日上海で開催されるChina Automotive Forumをスポンサーしました。国内外から2000人以上のゲストがこのフォーラムに参加。WPICのアジアヘッド鄧偉斌氏がフォーラムでFCEVとプラチナがパラジウムを代替することについてスピーチを発表。

<https://auto.china.com/sale/15303.html>



@wpicjapan